

兵庫県による南海トラフ巨大地震津波浸水想定に関する神戸市域の区別データ

(1) 区別の最高津波水位、最短到達時間

区名	最高津波水位 (m)			最短到達時間 (分)	
	県想定 (今回)	国想定	2倍高	県想定 (今回)	国想定
東灘区	3.3	4	4.2	110	110
灘区	3.2	4	3.2	109	114
中央区	3.9	4	4.0	91	91
兵庫区	3.5	4	4.2	89	88
長田区	2.7	3	4.0	88	86
須磨区	3.0	3	3.6	85	84
垂水区	2.6	3	3.6	83	83

注1) 「国想定」は、内閣府公表(平成24年8月29日)の津波断層モデル③(兵庫県全体の浸水面積が最大となる)を記載。

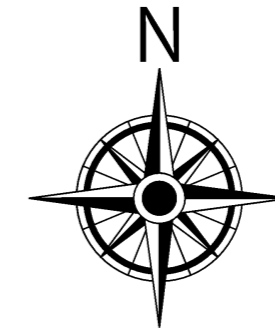
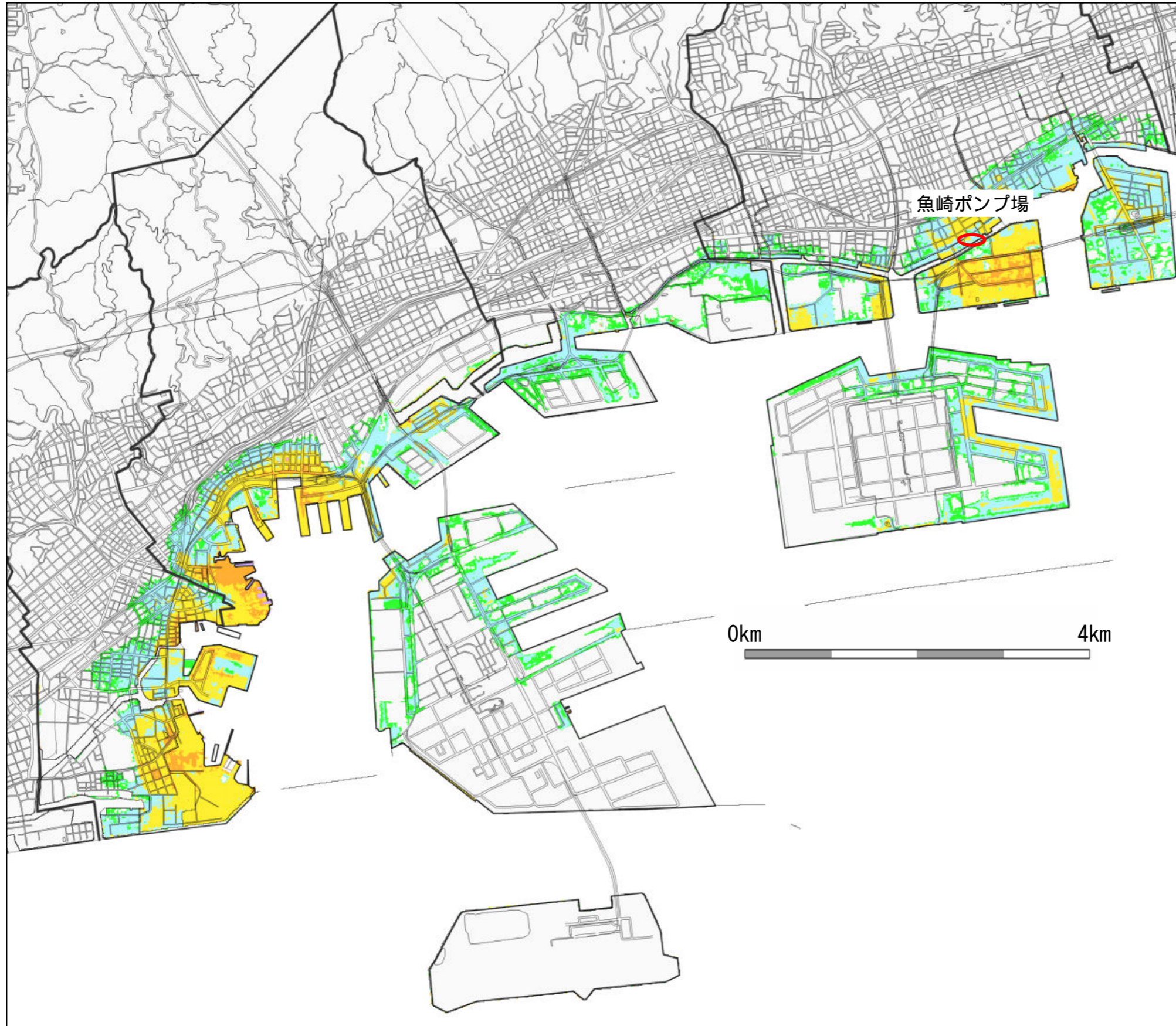
注2) 「2倍高」は、平成23年度に公表した暫定値(従前の安政南海地震クラスの想定津波高を2倍にしたもの)を記載。

注3) 津波水位は、「県想定」は小数点以下第2位を切り上げ。「国想定」は小数点以下第1位を切り上げ。津波水位については、県想定において、国のデータから、防潮堤等の構造物や地形の一部を修正して用いているため、国想定との差異が生じている。

注4) 最短到達時間は、津波水位が最高となる津波断層モデルで津波が初期水位より1m上昇する時間。

注5) 津波水位は、T.P.(東京湾平均海面)で表示。

【兵庫県津波浸水想定図：神戸市（東部）】



凡例 [浸水深]

5.0m以上～
4.0m以上～ 5.0m未満
3.0m以上～ 4.0m未満
2.0m以上～ 3.0m未満
1.0m以上～ 2.0m未満
0.3m以上～ 1.0m未満
～ 0.3m未満

【構造物条件】

条件：施設あり、地震動による沈下あり、天端越流破堤あり

- ※ 強震動に伴い防潮堤等の防潮施設は沈下し、さらに、津波が天端を越流したら破堤するとした場合（防潮門扉、水門は全開）
- ※ 常時閉鎖されている、あるいは、耐震性を有し、自動化され、津波が到達するまでに閉鎖が完了できる施設は「閉」条件とする

海岸保全施設 河川管理施設	地殻変動に伴う沈下	地震動による沈下	防潮門扉 水門の開閉	津波が施設天端を越流した場合
あり	沈降のみ考慮	考慮	一部閉鎖	破堤

【留意事項】

- * 「津波浸水想定図」は、最大クラスの津波が一定の条件下において発生した場合に想定される浸水の区域（浸水域）と水深（浸水深）を表したものです。
- * 最大クラスの津波は、現在の科学的知見を基に、過去に実際に発生した津波や今後発生が予想される津波から想定したものであり、これよりも大きな津波が発生する可能性がないというものではありません。
- * 実際の災害では、局所的な地面の凹凸や建築物、地震による地殻変動や構造物の変状等の影響を受けるため、計算条件と異なる状況が発生し、浸水域外での浸水の発生や、浸水深がさらに深くなる場合があります。
- * 「津波浸水想定図」では、津波による河川内や湖沼内の水位変化を明示していませんが、津波の遡上等により、実際には水位が変化することがあります。

